あさおの福祉

ほほえみ

第77号

編集・発行
川崎市麻生区社会福祉協議会
〒215-0004 麻生区万福寺1-2-2
新百合21ビル1F 福祉パルあさお内
発行人：山本 浩真　編集：広報啓発委員会
TEL 952-5500　FAX 952-1424
URL www.kawasaki-shakyo.jp/asao/
mail info@asao-shakyo.com
麻生区社協　検索

令和３年度 麻生区社会福祉協議会 賛助会費　中間報告

～みんなでささえる みんなのふくし～

地域の皆さまからの温かいご協力ありがとうございます！

中間実績額　2,159,400円（令和３年５月31日現在）

地域の皆様、また、賛助会員募集にご協力いただいた町会・自治会をはじめとした関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。
今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、賛助会員の重点募集期間を６～７月として実施しています。
引き続き、賛助会員の募集、受付を行っております。
賛助会費は、身近な地域福祉活動をささえる大切な資金です。ご協力をどうぞよろしくお願いします。

あなたも資金面から、地域の活動に参加しませんか？

賛助会員は、麻生区社会福祉協議会及び麻生東地区社会福祉協議会、柿生地区社会福祉協議会の活動の趣旨に賛同いただき、資金面から支えていただく方々のことです。賛助会費の７割は、地域にお住まいの方々で組織された地区社会福祉協議会の重要な活動資金となっています。
賛助会員は、麻生区社会福祉協議会窓口にて随時受け付けております。

賛助会費 1口　1,000円　**電　話** 044-952-5500

賛助会員を募集しています。
詳しくはホームページへ

令和３年度　区社協正副会長紹介挨拶

会　長　**山本　浩真**

コロナ禍の今だからこそ、地域における人と人とがつながり、そして、つながり続けることを大切にしたいと思います。社会福祉協議会は、これからも「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくり」をめざして活動してまいります。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長　**壁　宣昭**

麻生区の地域包括ケアシステムの推進に向け、社会福祉協議会は地域福祉推進の中核的な役割を担う団体として、さまざまな人々の生活・福祉課題に取り組んでまいります。
地域の中の助け合い、支え合い活動がより充実するよう、皆様の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

副会長　**久保倉　清**

今日の地域を取り巻く環境は、人間関係の薄らぎを感じる反面、福祉ニーズは多様化しております。
こうした課題を踏まえ、人と人とが支え合い助け合い、安心して暮らせるまちづくりのために努力をしてまいります。どうか皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

コロナに負けない　地域福祉活動！

オンラインで研修や講座を開催しました！

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施していた活動が難しい状況の中、オンラインを活用した研修や講座を開催しました。
電波の不具合やアクシデント等もございましたが、参加者の皆さまのご協力のもと実施することができました。
今後も、工夫しながら「コロナに負けない地域福祉活動！」を実施して参ります。

●在宅福祉サービス委員会●

「地域でともに生きるを考える～コロナ禍における情報共有の会～」
日時：令和３年３月２日（火）午後2時～
会場：オンライン（ZOOM）、会場視聴
内容：第1部「コロナ禍で困っていることや理解してほしいこと」
　　第2部「新型コロナウイルス感染症の状況やその他情報共有」

オンライン参加の画面

会場視聴の様子

（詳細は２ページの在宅福祉サービス委員会の報告をご覧ください）

●ボランティア活動振興センター運営委員会●

「新しい生活様式でのボランティア～これからの希望を託して福祉施設の話を聞く～」
日時：令和３年３月17日（水）午後2時～
会場：オンライン（ZOOM）、会場視聴
内容：新しい生活様式でのボランティア～これからの希望を託して
　　福祉施設の話を聞く～

オンライン参加の画面

会場視聴の様子

（詳細は４ページのぼらぼら第44号報告をご覧ください）

●福祉教育推進委員会●

（詳細は２ページの福祉教育推進委員会の報告をご覧ください）

白鳥中学校で聴覚障害者のお話と手話体験のオンライン福祉教育授業を行いました。
講師は麻生区社会福祉協議会の研修室から、ZOOMを接続して白鳥中学校の１年生６クラスの生徒に向けて講話をしてくださいました。

講義の様子

この広報紙は一部共同募金の配分金で発行されています。

「あさお福祉まつり」開催中止について

「あさお福祉まつり」につきましては、令和３年11月14日（日）に開催を予定しておりましたが、例年会場としている場所が区役所広場及び市民館であることや、新型コロナウイルス感染症の状況などを総合的に判断し、参加者に対する感染症対策及び安全の確保が困難であることから、「第32回あさお福祉まつり」は中止となりましたので、お知らせいたします。

子育て支援委員会

子育て支援委員会では、子育ての悩みや課題解決のための講座や交流会を企画・実施し、地域で安心して子育てができる環境づくりを目指しています。

※今年度の事業については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、実施について検討してまいります。

令和元年度「ペアレントトレーニング（未就学児の親向け講座）」の様子▶

広報啓発委員会

広報啓発委員会では、区内に住む地域の皆様に、社会福祉への関心を深めていけるよう広報・啓発の事業を行っています。

令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、広報・啓発に関するイベントを中止せざるを得ない状況でしたが、麻生区社協のホームページや広報紙「ほほえみ」にて福祉情報の発信をいたしました。

今年度も引き続き、コロナに負けない地域福祉活動として、麻生区社協のホームページや広報紙「ほほえみ」にて福祉情報を発信するとともに、新型コロナウイルスの感染状況をふまえて、感染予防対策を講じ、広報・啓発に関するイベントの開催を計画しています。

在宅福祉サービス委員会

在宅福祉サービス委員会では「みんなでささえあう、暮らしやすいまちづくり」の実現に向けて、“地域”をテーマに講演会や懇談会を実施し、ささえあい助けあうことができる地域共生社会を目指しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施していた事業の実施が難しい中で検討を重ね、区社協の各事業委員会と地域包括支援センターに参加者を限定し、「地域でともに生きるを考える～コロナ禍における情報共有の会～」を、オンライン（ZOOM）と会場視聴を併用して開催しました。

会場視聴の様子

【内容】

第1部では「コロナ禍で困っていること・理解してほしいこと」を当事者や支援者の方々にお話いただきました。

・視覚障害者は物を触って確認するが、接触が良くないとされている
・障害などでマスク着用ができない方がいるが、周囲から理解してもらうことが難しい等

第2部では「麻生区のコロナウイルスの状況・その他情報共有」を保健所麻生支所長よりお話いただきました。

令和3年3月2日「地域でともに生きるを考える ～コロナ禍における情報共有の会～」

【参加者の声】

～講演会を聞いて～

・コロナ感染症で困っていることを聞いて、色々な立場の人がいるのがわかり、その人に対して理解し、対応したいと思った。
・“通所は不要不急なのか”という葛藤。私自身も通所事業所に従事しているので、強く共感しました。
・地域福祉を支える皆さんが孤立せず、つながりながら情報共有、意見交換の機会を設けることは、とても大切。

オンライン参加の様子

～地域で“ともに生きる”ために大切なこと～

・まず自分の住んでいる地域の人達とのつながりが大切だと思う。
・自分のモノサシで全てをはかろうとせず、他者のモノサシがあることを理解する。

今年度も、工夫をしながら実施できる事業を検討しております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

福祉教育推進委員会

“ともに生きる”を考える「あさおのふくし」

麻生区社会福祉協議会では福祉教育推進のため、麻生区内の福祉施設、障害のある方などの当事者団体、福祉活動に携わるボランティアグループ等にご協力いただき、地域全体で福祉教育に取り組めるネットワーク作りや、地域内の社会資源と福祉教育を結びつけるためのコーディネートをしています。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策等を踏まえた調整をしています。

令和２年度　福祉教育申し込みに関する相談・紹介・調整実績

申込件数	内　訳	本申込を通じて福祉教育に参加した方
19件（延べ件数）	小学校14件、中学校５件	1,934人（延べ人数）※詳細は以下の表をご覧ください。

令和２年度　福祉教育実施一覧

	実施日	主催団体名	実施内容
1	7/20	柿生小学校４年生	高齢者疑似体験・アイマスク・妊婦体験貸出
2	10/28	栗木台小学校４年生	視覚障害者へインタビュー（書面）
3	11/ 9	麻生小学校４年生	高齢者疑似体験、車いす体験貸出
4	11/12	南百合小学校４年生	視覚障害者の話
5	11/13	西生田中学校１年生	百合丘老人いこいの家見学
6	11/20	白鳥中学校１年生	高齢者疑似体験・点字貸出
7	11/27	白鳥中学校１年生	手話の学習本貸出
8	12/ 7	西生田小学校４年生	ボッチャ体験
9	12/11	白鳥中学校１年生	聴覚障害者の話と手話体験（オンライン）
10	12/15	麻生小学校４年生	車いす介助者の話
11	12/18	白鳥中学校１年生	車いすユーザーの話
12	12/18	麻生小学校４年生	麻生養護学校の話
13	1/14	岡上小学校４年生	視覚障害者の話
14	1/18	金程小学校４年生	視覚障害者の話
15	1/19	岡上小学校	聴覚障害者の話と手話体験
16	1/25	金程小学校４年生	車いすユーザーの話
17	1/28	金程小学校４年生	高齢者疑似体験、車いす体験貸出
18	2/ 4	金程小学校４年生	聴覚障害者の話と手話体験
19	2/ 8	岡上小学校４年生	高齢者疑似体験・車いす体験・白杖・点字貸出

※令和２年度小学校・中学校・高校の先生との福祉教育に関しての懇談会を開催中止といたしました。

令和２年度　福祉教育の取組事例

感染症対策でオンラインや書面での福祉教育を実施した事例の紹介

❶オンラインで聴覚障害者のお話と手話体験

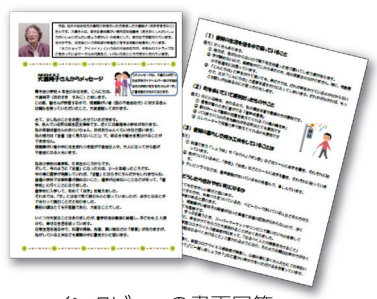
白鳥中学校の１年生とオンライン福祉教育を実施しました。

授業終了後の生徒の皆さんからは「マスクで表情を読み取ることが大変ではないか」などコロナ禍で気づきや、「手話で自分の想いを伝えようとする姿が印象的でした」などの感想をいただき、オンラインでも講師の想いが生徒の皆さんに伝わっていました。

❷書面で視覚障害者へインタビュー

栗木台小学校の４年生は書面で視覚障害者にインタビューをしました。

インタビューの最後に「コロナ禍で“人との接触をさけること”“ムダな会話はなるべくさけること”が、以前のような親切な声掛けがなくなってしまった。コロナが終息し、以前の様に多くの人たちに温かい声掛けをいただける日を願っています。」とコロナ禍での想いも書いてくださいました。



インタビューの書面回答

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付の申請期間延長について

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業、減収等で、生活資金にお困りの方々に向けた緊急小口資金、総合支援資金（初回・再貸付）の特例貸付の申請期間が、令和３年８月末までに延長されています。

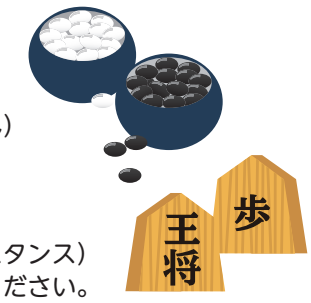
申請について、詳細は神奈川県社会福祉協議会ホームページをご確認ください。申請書類は、県社協ホームページからダウンロードいただくか、麻生区社会福祉協議会から郵送いたします。

麻生区内老人いこいの家の利用について

麻生区内7館（王禅寺、片平、千代ヶ丘、白山、麻生、岡上、百合丘）の老人いこいの家は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための川崎市行政運営方針に基づき、運営をしています。
※現在、館内での飲食はできません。

実施している事業
- 一部の教養講座
- 囲碁、将棋、麻雀、入浴（王禅寺、白山、千代ヶ丘）
- いこい元気広場、マッサージ健康教室
- 運動を伴う活動（マスク着用）

実施していない事業
- カラオケ
- ハーモニカ、オカリナ、尺八など吹奏系の活動



施設利用にあたっての留意事項
- マスクの着用（着用のない場合は利用できません）
- 自宅での検温（受付でご記入いただきます）
- 入退館時の手指消毒
- 定期的な換気の実施
- 利用者間で適切な距離を保つ（ソーシャルディスタンス）
- お茶の用意はしておりませんので、各自ご持参ください。

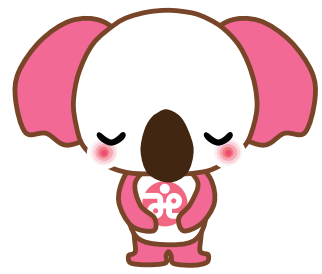
問い合わせ先：麻生区社会福祉協議会　TEL：044-952-5500

ご寄付ありがとうございました。

令和２年４月１日～令和３年３月31日

寄付金額 **364,896円**　寄付物品：車イス　１台

寄付者氏名・団体名（順不同・敬称略）
- ふれあい・いきいきサロン
- 学校法人 桐光学園中学高等学校
- 東急リゾーツ＆ステイ・石勝エクステリア共同事業体 川崎国際生田緑地ゴルフ場
- イトーヨーカ堂　新百合ヶ丘支部
- 海保　和夫
- 小山　智代子
- 匿名　６件

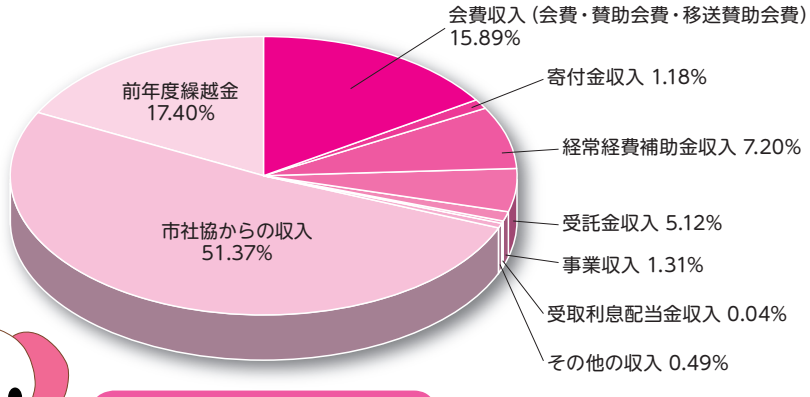


令和２年度麻生区社会福祉協議会　事業報告・決算報告

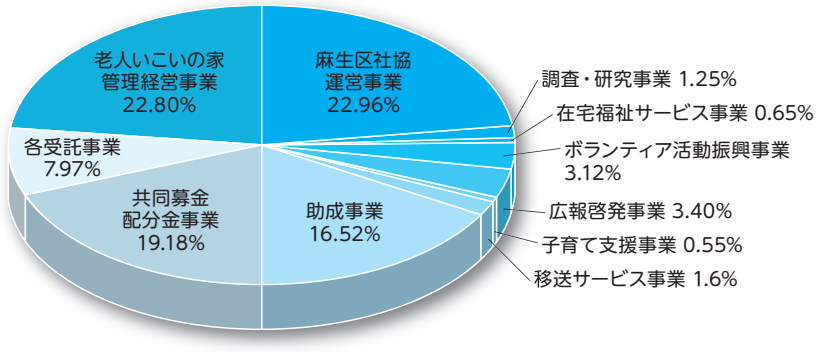
1　麻生区社会福祉協議会運営事業（10,101,142円）	社会福祉協議会の経営及び運営全般を担います。
2　調査研究事業（43,128円）	第４期地域福祉活動計画の策定を行いました。
3　在宅福祉サービス事業（99,036円）	区民の在宅福祉を支えるため、地域住民や関係団体と協力して事業をすすめました。 ・地域でともに生きるを考える懇談会の開催
4　ボランティア活動振興事業（448,159円）	区内のボランティア活動の活性化と継続活動の支援、人材育成の推進を図りました。 ・ボランティア相談　・情報紙「ぽらぽら広場」の発行　・福祉教育の推進 ・ボランティア養成講座などのボランティアを増やすための講座開催 ・コロナ禍におけるボランティア受入状況などのアンケート調査の実施
5　広報啓発事業（1,004,842円）	区民へ地域福祉の広報啓発を図り、福祉活動に積極的な参加を呼びかけました。 ・広報紙「ほほえみ」発行（年２回）
6　子育て支援事業（98,483円）	地域における子育て中の親・子を支援する体制づくりなどについて子育て支援委員会で協議・検討を行いました。
7　移送サービス事業（334,318円）	区内在住で、車いす利用などにより移動することが困難な方に対して、福祉車両「キューちゃん号」による移送サービスを実施しました。（68件）
8　助成事業（5,702,861円）	地区社協や区内会食・配食団体等に対して助成金を交付し、地域福祉活動の充実を図りました。 ・賛助会費の財源をもとに、麻生東地区社協・柿生地区社協へ活動費の交付　・高齢者ふれあい活動支援事業
9　共同募金配分事業（4,804,084円）	共同募金の配分金を財源として事業を実施しました。 ・年末たすけあい配分事業　・ボランティアグループや地区社協等への活動助成　・あさおオモチャとしょかん運営 ※上記事業の他にも、共同募金配分金を充当して各種の事業を実施しています。
10　受託事業（29,420,319円）	・福祉パルあさお管理運営事業　・生活福祉資金貸付事業　・老人いこいの家ミニデイサービス事業 ・麻生区あんしんセンター　・麻生老人福祉センター指定管理事業　・老人いこいの家指定管理事業

令和３年度 事業計画・予算について

重点項目
1. 区民の福祉や社会福祉協議会への理解を促進するための効果的な広報・啓発事業の展開
2. 地区社会福祉協議会を中心とする住民主体の小地域福祉活動の支援及び地域包括ケアシステムの構築に向けた地域力向上の取り組み
3. ボランティア活動振興センター事業（福祉教育を含む）の充実強化
4. 区社協自主財源確保のための取り組みの強化
5. コロナ禍をふまえた今後の麻生区社会福祉協議会のあり方についての検討



令和３年度　歳入合計 **45,804,000円**



令和３年度　歳出合計 **45,804,000円**

麻生区社協 ボランティア活動振興センター ぼらぼら 第44号

◆オンラインでボランティア講座を開催しました！

令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施しておりましたボランティア基礎講座を「新しい生活様式でのボランティア～これからの希望を託して福祉施設の話を聞く～」として、オンライン（ZOOM）と会場視聴を併用して開催しました。

内容は、第１部で福祉施設と現状について３施設の皆様に現状をお話いただきました。「コロナ禍で、今まで多くボランティアの皆様に支えられていたことを改めて感じた。」や、「コロナが落ち着いたらまた活動していただけるのを心待ちにしている。」など施設の声を聞くことが出来ました。

第２部では、あさおボランティア当事者連絡会の代表に、発行している広報紙「連絡だより」についてお話いただきました。「コロナに負けず“つながり”を絶やさないために～いまできること～」と題した記事を10月から連載し、情報共有の場となっているようでした。

第３部では、意見交換会として、田園調布学園大学の学生さんから貴重なご意見をいただきました。

講師がパソコンに向かってお話している様子

会場視聴の様子

【参加者の声】

- 各施設で悩みつつボランティア活動をすすめようという気持ちが見えました。
- ボランティアが必要になったら参加したいと思います。
- 世情の情況の変化に応じてどのようにボランティア活動を推進してゆくのかを分かりやすく発信してほしい。

◆「ぼらぼら広場」（奇数月発行）

コロナ禍によるボランティア募集・受入状況等により当面の間、不定期で発行させていただきます。

◆ボランティアの相談について

「ボランティア相談コーナー」は当面の間、中止しておりますが、麻生区社会福祉協議会の窓口や電話にてボランティアの相談を受付けております。お気軽にご相談ください♪

【お問合せ】麻生区社会福祉協議会　地域課 ／ 電話：044-952-5500

麻生区ボランティア活動振興センターでは、事業が安全に実施できる範囲で開催を検討しております。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

神奈川県共同募金会川崎麻生区支会からのお知らせ

令和２年度 赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金へご協力ありがとうございました。

令和２年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、協力者の安全確保等が困難であることから駅頭で実施している街頭募金運動の見送りなど、募金運動も大きく影響を受けました。しかし、このような状況におきましても、地域住民の皆さまより多大なるご協力をいただき、共同募金運動を実施することができました。募金にご協力いただきました皆さまへ心より感謝申し上げます。

依然、コロナ禍は続いておりますが、感染対策に最大限配慮を行いながら、地域における助け合いの輪がとぎれることのないように、令和３年度も実施に向けて尽力してまいります。引き続き、共同募金運動へのご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

麻生区共同募金寄付金総額・・・・・・11,977,256円

赤い羽根共同募金（一般募金）・・・・・・6,757,610円

麻生区内の在宅福祉をすすめる団体や福祉施設、神奈川県内の民間福祉活動を推進する団体に配分され、福祉活動をすすめる重要な資金になっています。

年末たすけあい募金・・・・・・・・・・・・・5,219,646円

在宅でお暮らしの福祉ニーズを持つ世帯へ、令和２年12月末に「年末見舞金」を現金書留で配布しました。また、麻生区社会福祉協議会を通じて、令和３年の様々な地域福祉活動の推進に役立てられます。集められた募金は全額、麻生区内で活用されます。

問合せ　神奈川県共同募金会川崎市麻生区支会（麻生区社会福祉協議会内）
電話044－952－5500

川崎市成年後見支援センターがオープンしました！

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会は川崎市から委託を受け、令和3年7月1日に川崎市成年後見支援センターをオープンしました。

麻生区では川崎市麻生区社会福祉協議会内にある麻生区あんしんセンターが相談窓口として、市民の皆様や関係機関から成年後見制度に関する相談を受け付けます。成年後見制度の内容や利用するための手続き等について、お気軽にご相談ください。

相談窓口　麻生区あんしんセンター
電話　044-952-5711